

対話レター

東近江市で西沢久夫さんの推薦を決定！

対話でつなごう滋賀の会（以下「対話の会」という）

は、2008年10月28日、幹事会を開催し、東近江市政に関する対応について協議したところ、これまでの実績に鑑み、全会一致で推薦決定しました。



西沢久夫さん

プロフィール

1952(昭和27)年 11月4日 現東近江市生れ
 1965(昭和40)年 八日市市立北小学校卒業
 1968(昭和43)年 八日市市立聖徳中学校卒業
 1971(昭和46)年 平安高等学校卒業
 1977(昭和52)年 大谷大学文学部(日本仏教史)卒業
 1977(昭和52)年 八日市市役所勤務(21年在職)
 1999(平成11)年 滋賀県議会議員当選
 2003(平成15)年 滋賀県議会議員再選
 2005(平成17)年 東近江市長選挙兆戦も惜敗
 2005(平成17)年 政策フォーラム滋賀事務局長
 2006(平成18)年 学童保育東近江市連協事務局長

政治の力で未来を切り拓こう！

対話の会・びわこねっとの木沢まさとです。東近江市民の皆様には、平素よりご支援、ご指導を賜りありがとうございます。

さて、この度、「対話の会」の幹事である西沢久夫さんが、東近江市政にチャレンジされることとなりました。2005年2月に1市4町の合併によりスタートした「東近江市」も、その後の旧能登川町・蒲生町の編入合併を経て、今や面積、人口規模共に、県下有数の「まち」となりました。

しかしながら、合併に伴う、諸課題は山積しており、二期目の市政がスタートするこれからは、まさに「東近江市づくり」、「まちづくり」の本番と言えると思います。

世界経済の停滞、それに伴う国内経済の悪化、国・地方共の財政赤字の問題、私達を取り巻く環境は、ますます厳しさを増していくと予想されますが、そのような時代であるからこそ、政治の「リーダーシップ」、未来を「切り拓く力」が求められます。

市民の皆様、お一人お一人の力を政治の場に反映し、西沢さんと共に、「希望都市・東近江市」をつくらせていきたいと思います。

対話の会・びわこねっと 木沢まさと



西沢氏を推薦いたします。

西沢久夫氏は、八日市市役所（現東近江市役所）21年間の行政経験と、約6年間にわたる県議会議員としての政治経験から、合併後の東近江市の問題点及び将来にむけての東近江市のまちづくりの方向性について、マニフェスト骨子7項目の政策にしっかりと盛り込まれており、前回の市長選挙惜敗後も政治家として地道な活動を行ない、とくに地方自治については常に勉強し、深く幅広い知識を有しています。

また、対話の会の活動では、一昨年の県知事選挙、昨年の統一地方選挙、さらにこの間の各首長や市町議選挙において、対話の会幹事として大きな役割を果たしてくれました。

嘉田マニフェストと対話の会の基本精神でもある『もったいない』を活かすという目標についても、この精神を東近江市政に反映したいと考えており、嘉田マニフェストの実現に大きく寄与してくれると確信しています。以上のことから、対話の会として西沢久夫氏を推薦することを決定しました。

対話でつなごう滋賀の会代表 寺川庄蔵

